

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-016

PDCA	事務事業名	畜産振興事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当	担当	川口	
					内線等	316	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (1) 継続的・安定的な農業経営の促進 個別施策： ①担い手の育成					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	農家が実施する家畜伝染病予防やBSE全頭検査に対して、補助を行うことにより家畜防疫対策を図り、現状を把握し畜産振興に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	県指定の伝染病予防事業事務及び農家や関係機関との連絡調整。 伝染病予防事業やBSE全頭検査について、農家に対する各種補助金の交付。 畜産施設において、畜産臭気など現状の把握に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①伝染病予防検査補助金交付頭数	5,266	3,735	2,297	頭	
		②BSE全頭検査頭数	128	131	165	頭	
		③					
		事業費	1,381	1,058	1,108	千円	
		人件費	1,906	2,855	1,874	千円	
		総事業費	3,287	3,913	2,982	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①伝染病予防検査牛1頭あたりの事業費	140	107	123	円		
	②BSE検査牛1頭あたりの事業費	5	5	5	千円		
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①伝染病予防検査実施率	実績値	100	100	100	%
			目標値	100	100	100	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		牛の伝染病(ヨーネ病)予防検査及び死亡牛のBSE検査に補助を行うことにより伝染病の蔓延防止を図った。 県内で豚コレラの発生があったが、畜産農家及び関係機関と連携し防疫対策指導を徹底したため、市内での発生は防疫できた。また、万が一、家畜伝染病が発生した場合に、防疫対策が迅速に実施できるように、防疫対策マニュアルを制定した。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①伝染病予防注射実施率			100	%